

⑫公開実用新案公報 (U)

平2-43266

⑬Int. Cl. 5

B 65 D 73/02
H 05 K 13/02

識別記号

府内整理番号

J 7818-3E

⑭公開 平成2年(1990)3月26日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮考案の名称 テーピング部品

⑯実 願 昭63-122186

⑰出 願 昭63(1988)9月20日

⑮考案者	伊藤 博史	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑯考案者	池田 弘康	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑮考案者	渡邊 靖夫	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑮考案者	黒田 孝之	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑯出願人	松下電器産業株式会社	大阪府門真市大字門真1006番地	
⑯代理人	弁理士 星野 恒司		

⑮実用新案登録請求の範囲

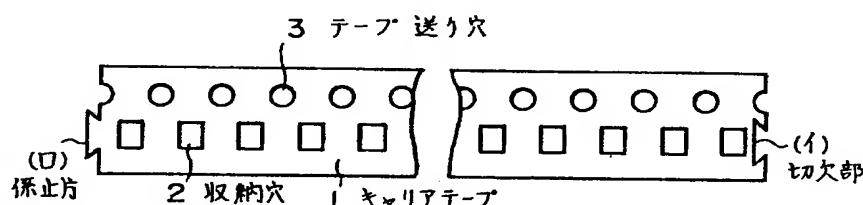
チップ型電子部品を収納する収納穴が一定間隔で連続して設けられた第1、第2のキャリアテープと、前記キャリアテープの両面に前記収納穴を塞ぐように貼付けられるテープ部材とを有し、前記キャリアテープの一方の端部に切欠部を形成すると共に、他方の端部に前記切欠部に係止する係止片を設け、前記第1のキャリアテープの切欠部に前記第2のキャリアテープの係止片を係止させて前記第1、第2のキャリアテープの端面を突合させて仮止めし、かつ、その仮止めされた突合部分にまたがるように前記テープ部材を貼付けて前記第1、第2のキャリアテープを結合するようにしたことを特徴とするテーピング部品。

図面の簡単な説明

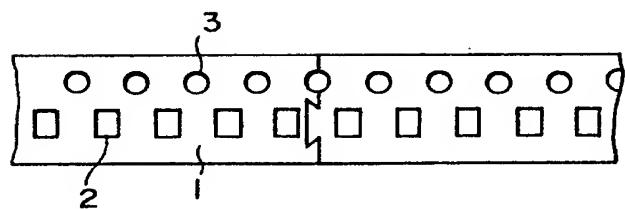
第1図は本考案の一実施例におけるキャリアテープの端部を示す平面図、第2図は同第1、第2のキャリアテープが係止された状態を示す平面図、第3図は同断面図、第4図は従来のキャリアテープの端部を示す平面図、第5図は同テーピング部品の状態を示す断面図、第6図は同テーピング部品をリールに巻取った状態を示す斜視図、第7図は同リールに巻取った状態での引出し部と巻終り部を示す平面図である。

1…キャリアテープ、2…収納穴、3…テープ送り穴、4…テープ部材、5…チップ型電子部品、6…接着剤。

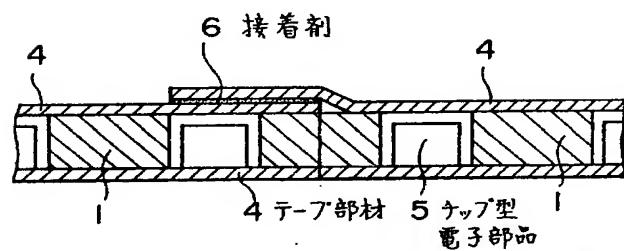
第一図



第 2 図

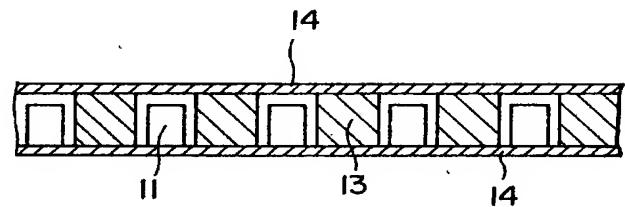
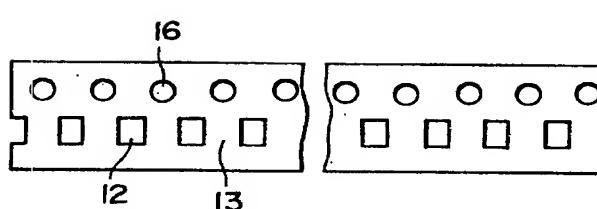


第 3 図

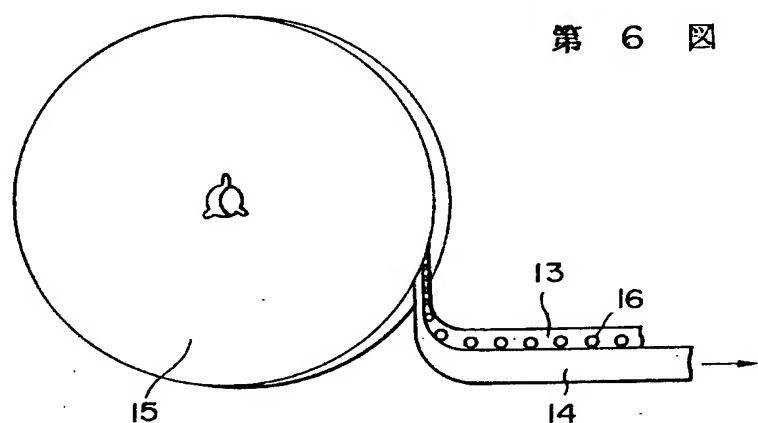


第 4 図

第 5 図



第 6 図



第 7 図

